

第35回防衛セミナー実施概要

明治150年記念セミナー

～旧軍港都市横須賀の歴史～



主催者：堀地南関東防衛局長



後援者：上地横須賀市長

平成30年12月18日（火）神奈川県横須賀市の横須賀芸術劇場 小劇場（ヨコスカ・ベイサイド・ポケット）において、「明治150年記念セミナー～旧軍港都市横須賀の歴史～」をテーマに、防衛省海上幕僚監部 金澤3等海佐、横須賀市自然・人文博物館 安池学芸員及び海上自衛隊東京音楽隊をお招きし「第35回防衛セミナー」を開催しました。

主催者である堀地南関東防衛局長及び後援者である上地横須賀市長による挨拶の後、第1部として金澤3等海佐より「明治150年と日本の近代海軍建設」と題して、江戸幕府の海軍出身者が、明治政府の海軍建設を実務面で支えていたことなど、日本の海軍建設における近世と近代の連続性について講演がありました。

第2部では、安池学芸員より「横須賀に芽生えた近代技術」と題して、日本の近代化における横須賀の意義について、造船や通信などの先端技術の導入開発、通信学校での技術者養成など人材育成の面から説明がありました。

第3部では、「海上自衛隊東京音楽隊による演奏会」と題して海上自衛隊東京音楽隊より、NHK大河ドラマ「西郷どん」メインテーマやペリー提督が久里浜に上陸した際に演奏された「ヘイル・コロンビア」など、明治時代や横須賀にちなんだ楽曲が演奏されました。



第1部：金澤3等海佐



第2部：安池学芸員



第3部：海上自衛隊東京音楽隊

セミナーには多くの方にご来場頂き、「人々の大変な苦労があって、今の豊かな現代に至っていることを改めて感じました」、「こういった横須賀の歴史については、地元の間人は一度は話を聞くべきだと思う」、「とても興味深い講演と楽しい演奏会だった。また参加したい」といった感想が寄せられました。